

平成28年6月21日

各 位

長崎純心大学長
片岡 瑠美子

シンポジウム「長崎の創生と大学の果たす役割」の開催について（ご案内）

平素より本学の教育・研究については、ご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨今の少子・高齢化社会において、地方から都会への若者の人口流出は、地方の人口減少だけでなく、地域経済の縮小にも拍車をかけ、地方と都会の経済格差がますます広がるなど大きな社会問題にもなっております。

こうした社会背景の中、本学では、長崎をすべての人に住みよいまちとするために、大学として何ができるか、別紙のとおり三人のシンポジストをお迎えして、シンポジウムを開催することとなりました。

つきましては、開催の趣旨をご理解いただきまして、多くの方にご参加をお願いいたく、ご案内申し上げます。

シンポジウム「長崎の創生と大学の果たす役割」

1. 日 時 : 平成28年7月2日（土）
15:00～17:00（開場 14:30）
2. 場 所 : 長崎ブリックホール・国際会議場（長崎市茂里町）
☆入場無料
3. 詳細は別紙のとおり

問い合わせ先

長崎純心大学 総務課

TEL 095-846-0084

Email gakuen@n-junshin.ac.jp

〒852-8558 長崎市三ツ山町 235

シンポジウム「長崎の創生と大学の果たす役割」

主催者 長崎純心大学

I シンポジウムの趣旨

長崎からの若者の流出と、それに伴う人口減少に歯止めをかけることは、長崎県・市が抱える喫緊の課題です。長崎純心大学は、とくに次の二つの具体的な試みでこの課題に答えようとしています。

第一の試みは「地域包括支援を担う若者の育成」です。すべての人たちが住み慣れたまちで、最後まで安心して暮らすことができるような地域の在り方を支えるには、医療的支援だけでなく、福祉的・心理的支援が不可欠であり、本学はそれに貢献する若者の育成を目指しています。

第二の試みは「長崎の歴史・文化を知り、長崎を愛する若者の育成」です。本学は、開学よりその使命として長崎に力点を置いた教育・研究を行ってきました。これに加えて、今年度からは長崎国際観光コンベンション協会と連携して、新設科目「長崎さるく入門」を開設しました。この科目は「長崎の歴史・文化をよく知り、それを長崎に来た人に伝えたいと思うほど長崎を愛する」若者の育成を目指しています。

長崎を知り、長崎を愛する若者たちが、長崎に留まることを決断したとき、その力と働きで、長崎に生きる人たちがさらに活気づいていくと思います。

1) 地域包括支援を担う若者の育成、2) 長崎の歴史・文化を知り、長崎を愛する若者の育成という長崎純心大学の二つの試みを出発点として、三人のシンポジストの方に、長崎の創生に対して大学の果たすべき役割について論じていただき、全国に向かって発信できるような地方創生のモデルを参加者全員で考えていきます。

II シンポジスト

田上 富久・長崎市長

寺脇 研・元文部科学省大臣官房審議官

齋藤 寛・前長崎大学長（純心女子学園理事）

III コーディネーター

潮谷有二・長崎純心大学人文学部学部長補佐

IV 学生参加者

鈴田紘子・長崎純心大学人間心理学科4年

V 日時

2016年7月2日（土） 15:00～17:00 （開場 14:30～）

VI 場所

長崎ブリックホール・国際会議場

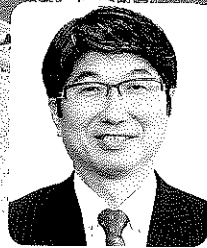
☆入場無料

シンポジウム

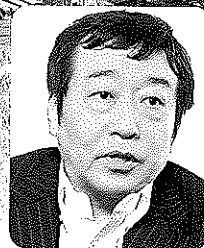
長崎の創生と 大学の果たす役割

長崎をすべての人に
住みよいまちとするために

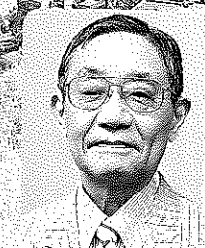
シンポジスト



田上 富久
長崎市長



寺脇 研
元文部科学省大臣官房審議官



齋藤 寛
前長崎大学長
純心女子学園理事

司会
コーディネーター

潮谷 有二
長崎純心大学人文学部
学部長補佐

地域包括
支援システム
の構築

長崎を
愛する若者の
育成

長崎の
歴史と文化の
継承

2016
7/2 **土** 15時~17時
開場 14時30分

会場 長崎ブリックホール 国際会議場
長崎市茂里町2-38

お問い合わせ/長崎純心大学 総務課 TEL.095-846-0084 メール: gakuen@n-junshin.ac.jp

入場
無料

主催/長崎純心大学